
2024（令和6）年度
農業経営等に関するアンケート
報告書

2024（令和6）年10月

帯広市農政部農政室農政課

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第6期帯広市農業・農村基本計画（計画期間：2020（令和2）年度から2029（令和11）年度）の改定作業にあたり、市内農業者の農業経営等に係る課題や将来の方向性等を把握することを目的に実施するもの。

(2) 調査対象者

帯広市内の認定農業者等の経営主及び配偶者（2024（令和6）年7月末現在）

(3) 対象経営体数

609 経営体

(4) 調査方法

郵送（返信用封筒同封）によるアンケート調査方式（回答方法はスマートフォン等の端末、郵送、FAX、持参）。アンケート発送後、回収率を向上させるため、市内2農協へFAXによる周知を依頼。

(5) 調査期間

2024（令和6）年8月19日（月）～2024（令和6）年9月30日（月）

(6) 回答結果

対象経営体数	609 件
回収経営体数	235 件
回収率	38.6%
有効回答数	276 件（経営主 235 件、配偶者 41 件）

(7) 調査結果の表示について

集計結果については、小数点第1位を四捨五入しているため、個々の構成比の合計が100%にならない場合があります。

2 アンケート設問

1 回答される方のお伺いします

- (1) 年齢を教えてください
- (2) お住まいの地域を教えてください
- (3) 経営主との関係を教えてください

2 現在の農業経営についてお伺いします

- (4) 経営形態を教えてください
- (5) 経営面積を教えてください
- (6) 後継者について教えてください
- (7) 労働力の確保が困難となっている理由がありましたら、教えてください
(2つまで選択)
- (8) 5年前と比べて、今の経営状況はどう変化しましたか
- (9) 良くなった主な要因を教えてください ※(8)で良くなったと回答した方
(2つまで選択)
- (10) 悪くなった主な要因を教えてください ※(8)で悪くなったと回答した方
(2つまで選択)

3 将来の農業経営についてお伺いします

- (11) 5年後の経営規模の目標を教えてください
- (12) 5年後の経営について教えてください
- (13) 農作業の生産性向上のために今後行いたいと考える取組等について教えてください
(2つまで選択)
- (14) 先端的な技術(スマート技術)を用いた農業用機械等の導入によりめざしたいこと
について教えてください(例:農業用ドローン、搾乳ロボット等)

4 付加価値の向上についてお伺いします

- (15) 農畜産物のブランド力を向上させるために、地域で取り組んでいく必要があると考
えることについて教えてください
(2つまで選択)
- (16) 新たに導入を検討している農畜産物がありましたら、教えてください

5 食の安全・安心、環境との調和、地産地消についてお伺いします

- (17) GAP・HACCP・有機JAS等の認証取得をしていない理由について教えてください
- (18) 減肥・減農薬など環境負荷低減を進めるうえで課題と考えることについて教えてください
- (19) 地産地消の推進のため、地域で取り組んでいく必要があると考えることについて教えてください

6 自然災害・農業被害等についてお伺いします

- (20) 耕地防風林の効果等について教えてください
- (21) 病害虫・伝染病等への対策として、重要と考える取組について教えてください
- (22) 野生鳥獣による農業被害対策としてご自身で実施し、効果があると考えられることについて教えてください

7 グローバル化についてお伺いします

- (23) TPP等による貿易自由化への対応として、取り組みたいことについて教えてください
- (24) 国は、国内への食料供給に加え、海外への輸出を図る考えであり、農協等も輸出に取り組んでいますが、輸出量を増やしていくために必要と考える取組について教えてください
- (25) 外国人労働力を活用するうえで課題と考えることについて教えてください

8 担い手の育成・確保についてお伺いします

- (26) 担い手育成に必要と思う技術・能力等について教えてください
- (27) 担い手の結婚対策として取り組んでほしいことについて教えてください

9 農村地域の活性化についてお伺いします

- (28) 快適な生活環境維持のために重要と考える生活インフラ等について教えてください
- (29) 農村地域の活性化に必要と考える取組について教えてください
- (30) 女性が農業分野で更に活躍するために必要な取組等について教えてください

10 農業施策等に関してお伺いします

- (31) 農業に関する施策のうち、重点的に取り組むべきと考えることについて、教えてください
(3つまで選択)

3 調査結果

1 - (1) 年齢を教えてください

(1) 集計概要

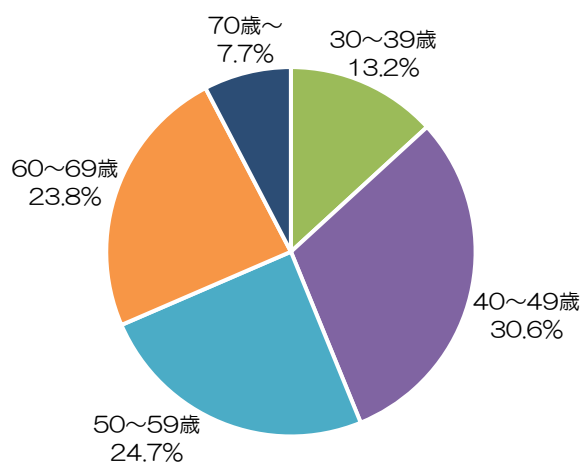
経営主の年齢構成は40代が最も多く30.6%、続いて50代24.7%、60代23.8%となり、平均年齢は52.9歳となりました。

また、配偶者の年齢構成は50代が最も多く39.0%、続いて60代36.6%、40代14.6%となり、平均年齢は54.8歳となりました。

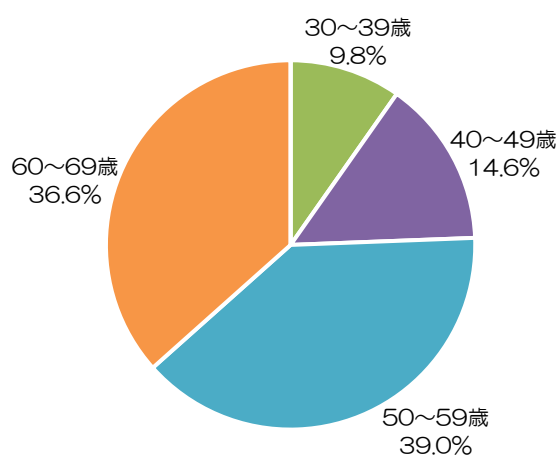
(2) 集計結果（全体）

区分	経営主		配偶者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
～19歳	0	-	0	-
20～29歳	0	-	0	-
30～39歳	31	13.2%	4	9.8%
40～49歳	72	30.6%	6	14.6%
50～59歳	58	24.7%	16	39.0%
60～69歳	56	23.8%	15	36.6%
70歳～	18	7.7%	0	-
無回答	0	-	0	-
合計	235	100.0%	41	100.0%

【経営主】



【配偶者】



1 - (2) お住まいの地域を教えてください

(1) 集計概要

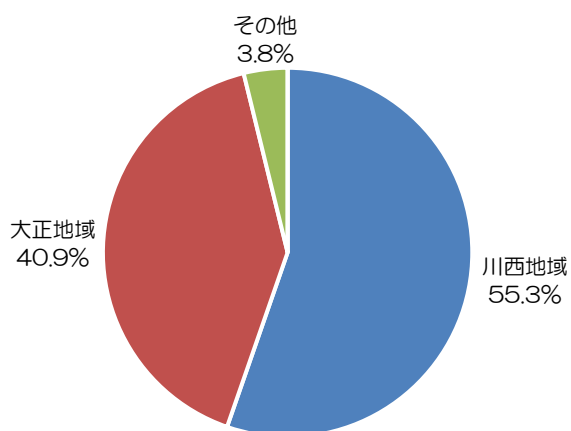
経営主の居住地は、川西地域が 55.3%、大正地域が 40.9%となりました。

また、配偶者の居住地は、川西地域が 43.9%、大正地域が 56.1%となりました。

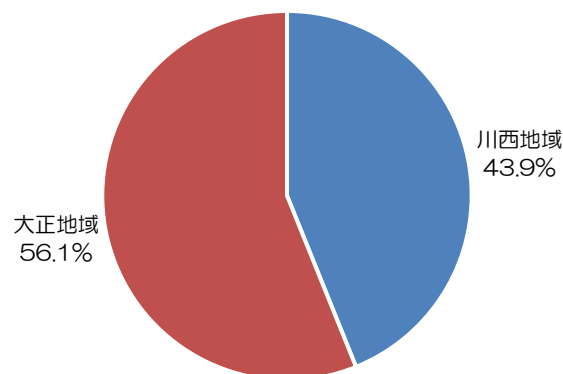
(2) 集計結果（全体）

区分	経営主		配偶者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
川西地域	130	55.3%	18	43.9%
大正地域	96	40.9%	23	56.1%
その他	9	3.8%	0	-
無回答	0	-	0	-
合計	235	100.0%	41	100.0%

【経営主】



【配偶者】



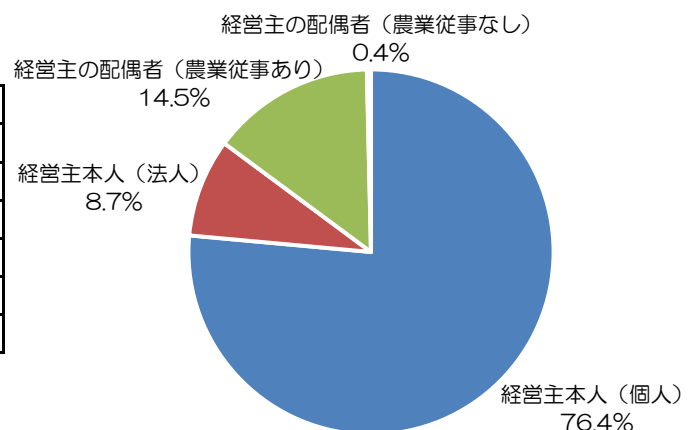
1 - (3) 経営主との関係を教えてください

(1) 集計概要

経営主との関係は、「経営主本人（個人）」が 76.4%、「経営主本人（法人）」が 8.7%で「経営主本人」は合わせて 85.1%となりました。また、「経営主の配偶者（農業従事あり）」が 14.5%、「経営主の配偶者（農業従事なし）」が 0.4%で「経営主の配偶者」は合わせて 14.9%となりました。

(2) 集計結果（全体）

区分	回答数	構成比
経営主本人（個人）	211	76.4%
経営主本人（法人）	24	8.7%
経営主の配偶者（農業従事あり）	40	14.5%
経営主の配偶者（農業従事なし）	1	0.4%
無回答	0	-
合計	276	100.0%



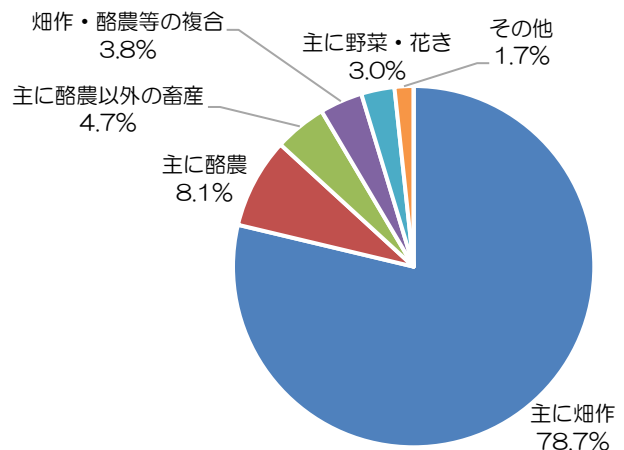
2 - (4) 経営形態を教えてください

(1) 集計概要

「主に畑作」が最も多く 78.7%、続いて「主に酪農」が 8.1%、「主に酪農以外の畜産」が 4.7%となりました。

(2) 集計結果（経営主）

区分	回答数	構成比
主に畑作	185	78.7%
主に酪農	19	8.1%
主に酪農以外の畜産	11	4.7%
畑作・酪農等の複合	9	3.8%
主に野菜・花き	7	3.0%
その他	4	1.7%
無回答	0	-
合計	235	100.0%



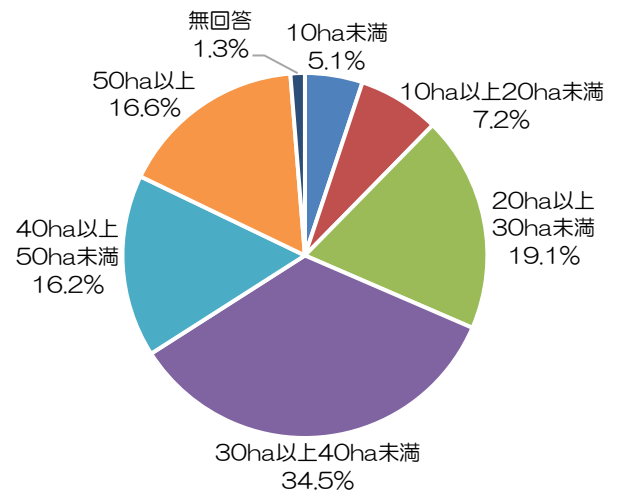
2-（5）経営面積を教えてください

（1）集計概要

「30ha 以上 40ha 未満」が最も多く 34.5%、続いて「20ha 以上 30ha 未満」が 19.1%、「50ha 以上」が 16.6%となり、平均経営面積は 38.4ha となりました。

（2）集計結果（経営主）

区分	回答数	構成比
10ha未満	12	5.1%
10ha以上20ha未満	17	7.2%
20ha以上30ha未満	45	19.1%
30ha以上40ha未満	81	34.5%
40ha以上50ha未満	38	16.2%
50ha以上	39	16.6%
無回答	3	1.3%
合計	235	100.0%



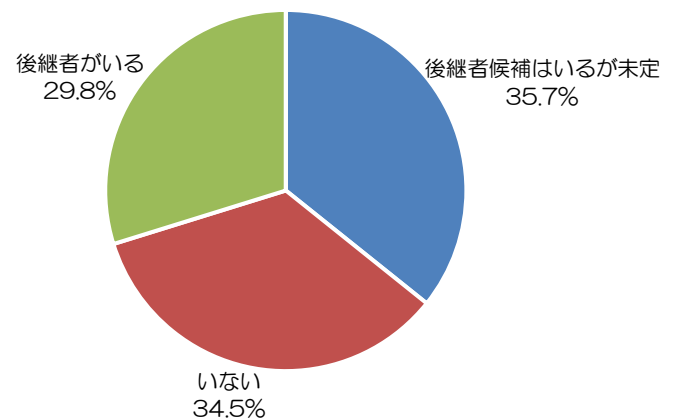
2-（6）後継者について教えてください

（1）集計概要

「後継者候補はいるが未定」が最も多く 35.7%、続いて「いない」が 34.5%、「後継者がいる」が 29.8%となりました。

（2）集計結果（経営主）

区分	回答数	構成比
後継者候補はいるが未定	84	35.7%
いない	81	34.5%
後継者がいる	70	29.8%
無回答	0	-
合計	235	100.0%



2-（7）労働力の確保が困難となっている理由がありましたら、教えてください

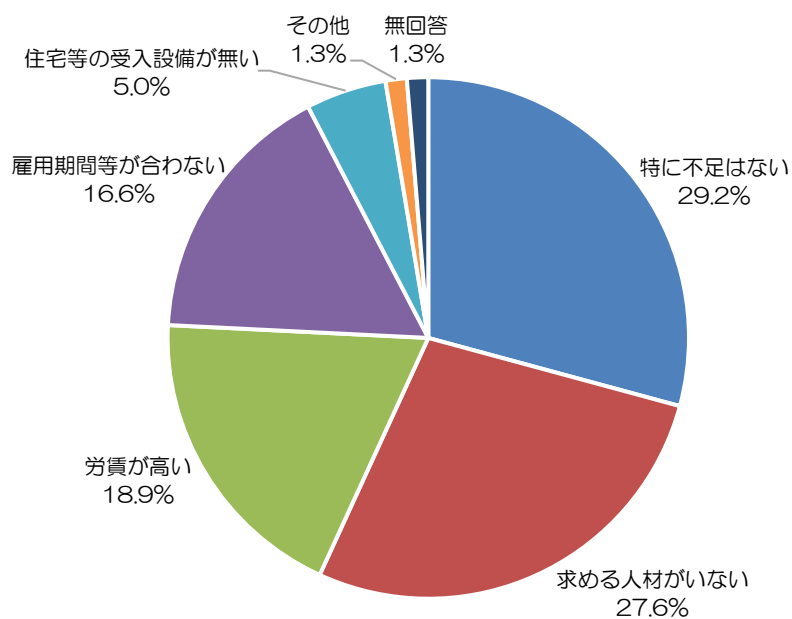
（1）集計概要

「特に不足はない」が最も多く 29.2%、続いて「求める人材がない」が 27.6%、「労賃が高い」が 18.9%となりました。

また、「その他」の意見として「デイワークやインターンの受入以外にパートを見つける術がない」などがありました。

（2）集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり）） ※2つまで選択

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
特に不足はない	111	29.2%	86	29.4%	11	36.7%	14	24.6%
求める人材がない	105	27.6%	82	28.0%	8	26.7%	15	26.3%
労賃が高い	72	18.9%	51	17.4%	8	26.7%	13	22.8%
雇用期間等が合わない	63	16.6%	53	18.1%	2	6.7%	8	14.0%
住宅等の受入設備が無い	19	5.0%	15	5.1%	0	-	4	7.0%
その他	5	1.3%	3	1.0%	1	3.3%	1	1.8%
無回答	5	1.3%	3	1.0%	0	-	2	3.5%
合計	380	100.0%	293	100.0%	30	100.0%	57	100.0%



2-（8）5年前と比べて、今の経営状況はどう変化しましたか

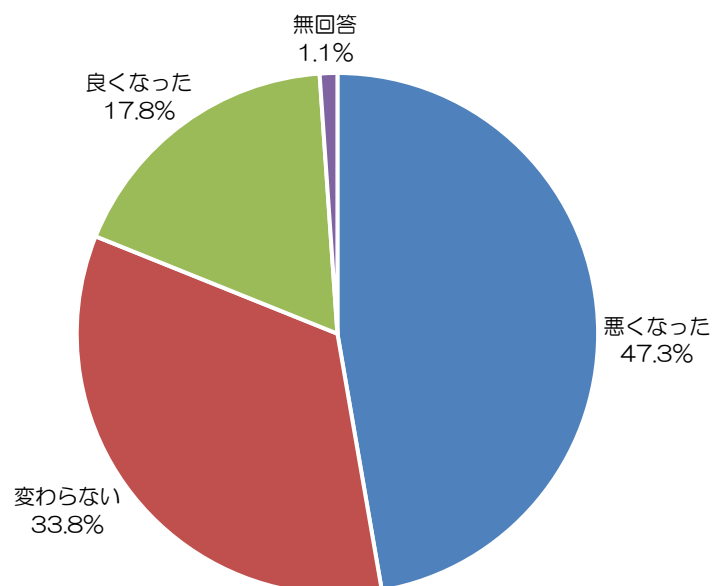
（1）集計概要

「悪くなった」が最も多く47.3%、続いて「変わらない」が33.8%、「良くなった」が17.8%となりました。

また、「悪くなった」は個人経営主の49.8%に対して、法人経営主は25.0%と24.8ポイント低くなりました。

（2）集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり））

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
悪くなった	130	47.3%	105	49.8%	6	25.0%	19	47.5%
変わらない	93	33.8%	74	35.1%	10	41.7%	9	22.5%
良くなった	49	17.8%	31	14.7%	8	33.3%	10	25.0%
無回答	3	1.1%	1	0.5%	0	-	2	5.0%
合計	275	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%



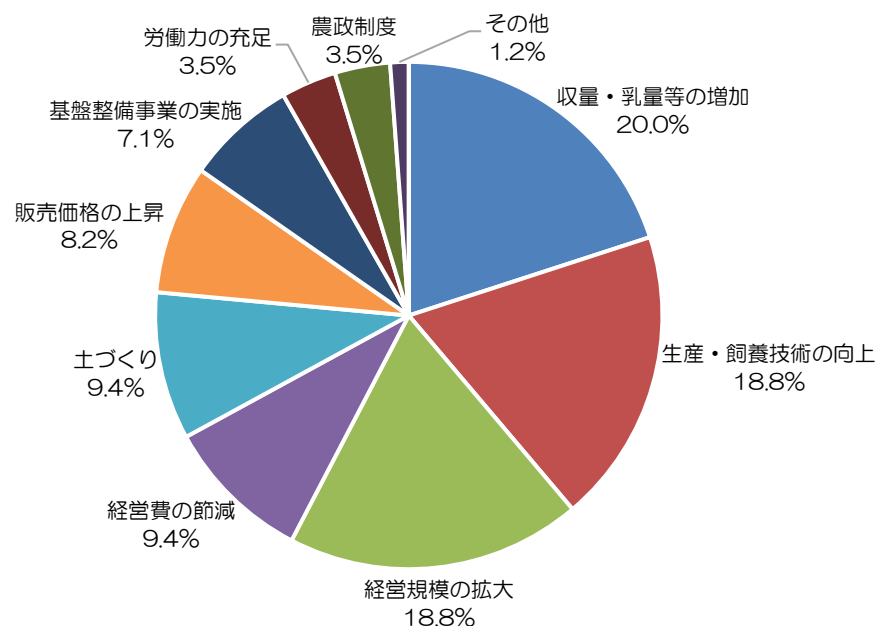
2-（9）良くなった主な要因を教えてください

（1）集計概要

「収量・乳量等の増加」が最も多く 20.0%、続いて「生産・飼養技術の向上」と「経営規模の拡大」が 18.8%、「経営費の節減」と「土づくり」が 9.4%となりました。

（2）集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり）） ※2つまで選択

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
収量・乳量等の増加	17	20.0%	12	22.6%	1	7.1%	4	22.2%
生産・飼養技術の向上	16	18.8%	12	22.6%	1	7.1%	3	16.7%
経営規模の拡大	16	18.8%	11	20.8%	1	7.1%	4	22.2%
経営費の節減	8	9.4%	3	5.7%	3	21.4%	2	11.1%
土づくり	8	9.4%	6	11.3%	1	7.1%	1	5.6%
販売価格の上昇	7	8.2%	5	9.4%	2	14.3%	0	-
基盤整備事業の実施	6	7.1%	2	3.8%	2	14.3%	2	11.1%
労働力の充足	3	3.5%	1	1.9%	1	7.1%	1	5.6%
農政制度	3	3.5%	1	1.9%	1	7.1%	1	5.6%
その他	1	1.2%	0	-	1	7.1%	0	-
無回答	0	-	0	-	0	-	0	-
合計	85	100.0%	53	100.0%	14	100.0%	18	100.0%



2-（10）悪くなった主な要因を教えてください

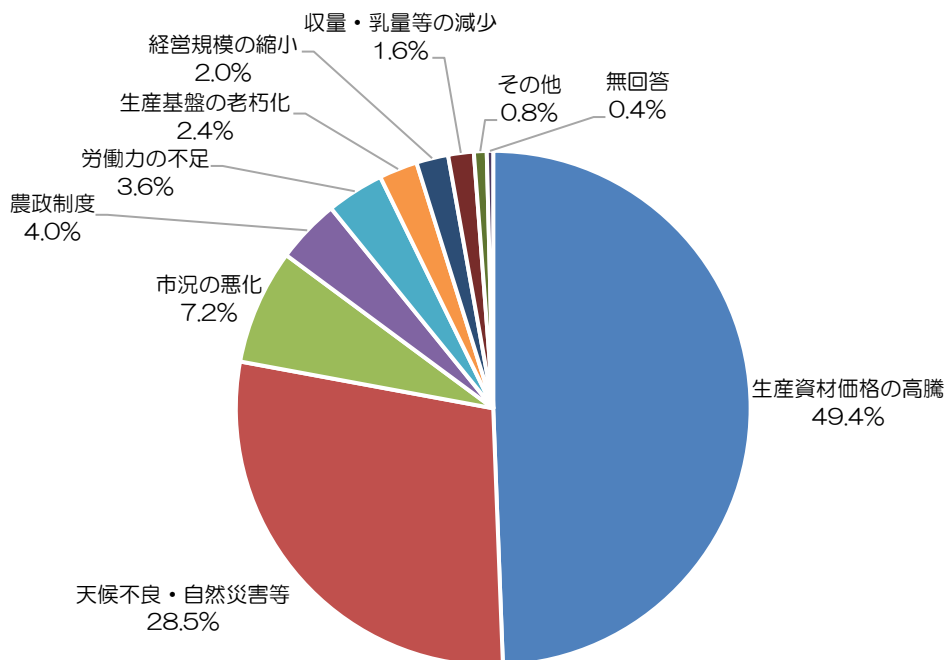
（1）集計概要

「生産資材価格の高騰」が最も多く 49.4%、続いて「天候不良・自然災害等」が 28.5%、「市況の悪化」が 7.2%、「農政制度」が 4.0%となりました。

なお、「その他」の意見として「農産物の低価格」などがありました。

（2）集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり）） ※2つまで選択

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
生産資材価格の高騰	123	49.4%	101	49.8%	5	50.0%	17	47.2%
天候不良・自然災害等	71	28.5%	55	27.1%	1	10.0%	15	41.7%
市況の悪化	18	7.2%	15	7.4%	2	20.0%	1	2.8%
農政制度	10	4.0%	9	4.4%	1	10.0%	0	-
労働力の不足	9	3.6%	8	3.9%	1	10.0%	0	-
生産基盤の老朽化	6	2.4%	6	3.0%	0	-	0	-
経営規模の縮小	5	2.0%	4	2.0%	0	-	1	2.8%
収量・乳量等の減少	4	1.6%	3	1.5%	0	-	1	2.8%
その他	2	0.8%	2	1.0%	0	-	0	-
無回答	1	0.4%	0	-	0	-	1	2.8%
合計	249	100.0%	203	100.0%	10	100.0%	36	100.0%



3-（11）5年後の経営規模の目標を教えてください

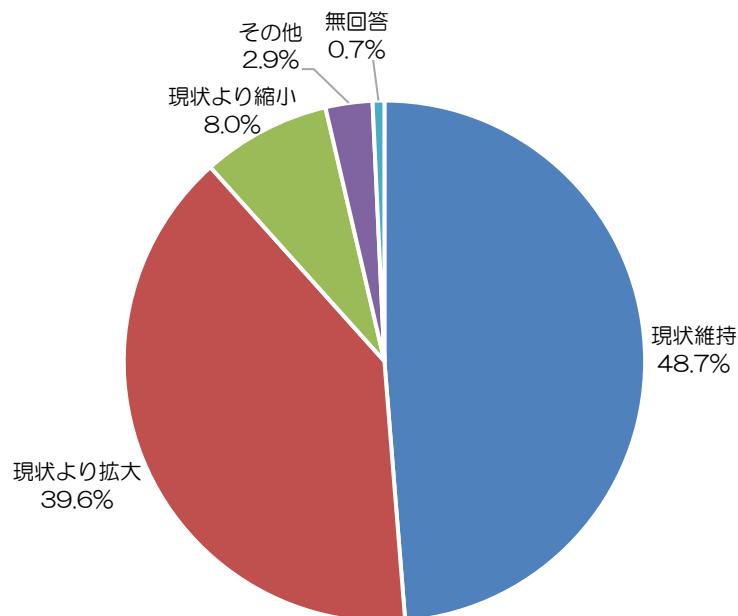
（1）集計概要

「現状維持」が最も多く48.7%、続いて「現状より拡大」が39.6%、「現状より縮小」が8.0%となりました。

なお、「その他」の意見として「規模拡大をしたいが土地がない」などがありました。

（2）集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり））

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
現状維持	134	48.7%	100	47.4%	10	41.7%	24	60.0%
現状より拡大	109	39.6%	90	42.7%	11	45.8%	8	20.0%
現状より縮小	22	8.0%	15	7.1%	3	12.5%	4	10.0%
その他	8	2.9%	5	2.4%	0	-	3	7.5%
無回答	2	0.7%	1	0.5%	0	-	1	2.5%
合計	275	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%



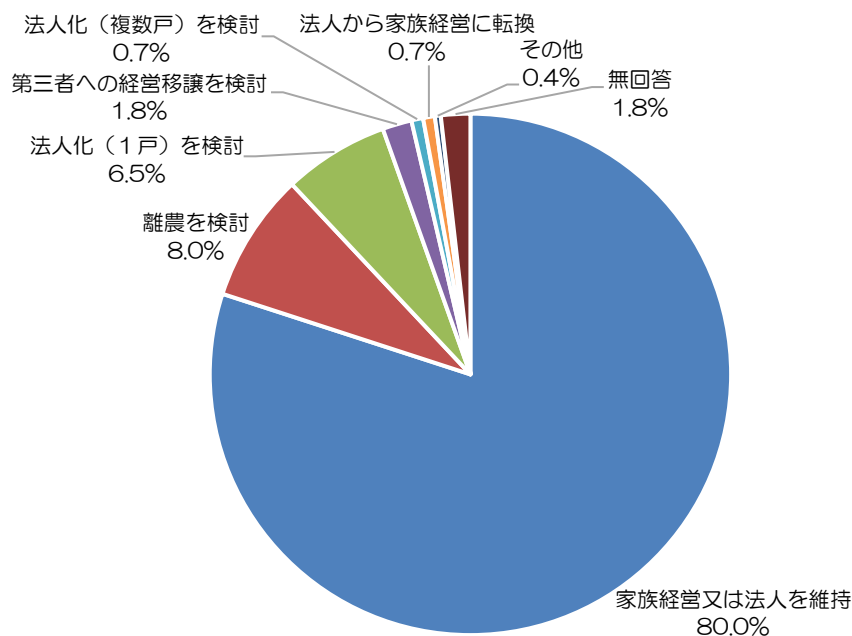
3- (12) 5年後の経営について教えてください

(1) 集計概要

「家族経営又は法人を維持」が最も多く80.0%、続いて「離農を検討」が8.0%、「法人化（1戸）を検討」が6.5%となりました。

(2) 集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり））

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
家族経営又は法人を維持	220	80.0%	169	80.1%	21	87.5%	30	75.0%
離農を検討	22	8.0%	17	8.1%	1	4.2%	4	10.0%
法人化（1戸）を検討	18	6.5%	14	6.6%	0	-	4	10.0%
第三者への経営移譲を検討	5	1.8%	4	1.9%	1	4.2%	0	-
法人化（複数戸）を検討	2	0.7%	1	0.5%	1	4.2%	0	-
法人から家族経営に転換	2	0.7%	2	0.9%	0	-	0	-
その他	1	0.4%	1	0.5%	0	-	0	-
無回答	5	1.8%	3	1.4%	0	-	2	5.0%
合計	275	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%



3-（13）農作業の生産性向上のために今後行いたい と考える取組等について教えてください

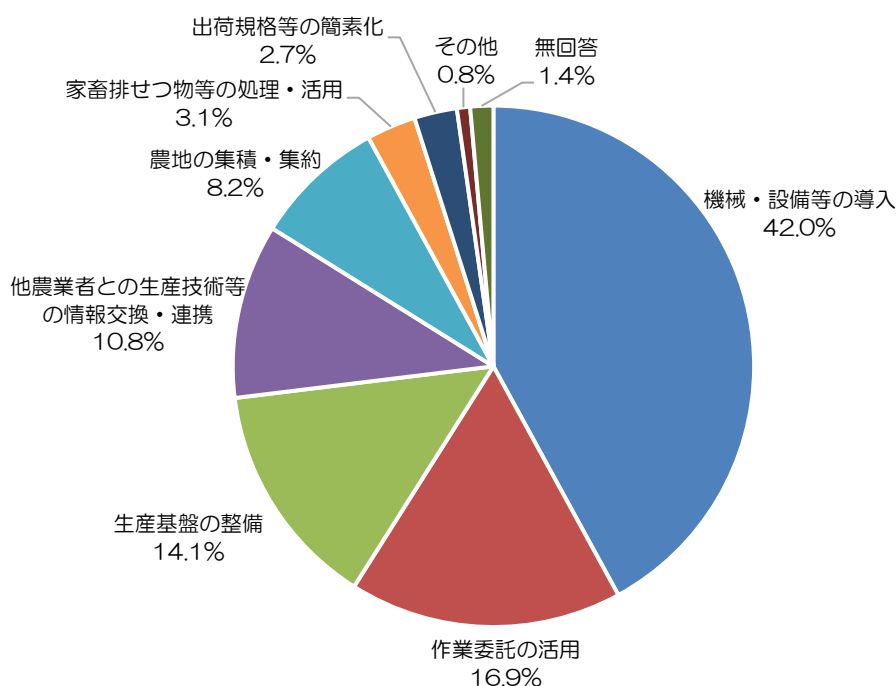
（1）集計概要

「機械・設備等の導入」が最も多く 42.0%、続いて「作業委託の活用」が 16.9%、「生産基盤の整備」が 14.1%となりました。

なお、「その他」の意見として「販売力の充実」、「資金不足により取組不能」などがありました。

（2）集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり）） ※2つまで選択

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
機械・設備等の導入	206	42.0%	163	43.0%	18	42.9%	25	36.2%
作業委託の活用	83	16.9%	64	16.9%	4	9.5%	15	21.7%
生産基盤の整備	69	14.1%	52	13.7%	9	21.4%	8	11.6%
他農業者との生産技術等の情報交換・連携	53	10.8%	39	10.3%	5	11.9%	9	13.0%
農地の集積・集約	40	8.2%	32	8.4%	3	7.1%	5	7.2%
家畜排せつ物等の処理・活用	15	3.1%	13	3.4%	0	-	2	2.9%
出荷規格等の簡素化	13	2.7%	10	2.6%	0	-	3	4.3%
その他	4	0.8%	1	0.3%	1	2.4%	2	2.9%
無回答	7	1.4%	5	1.3%	2	4.8%	0	-
合計	490	100.0%	379	100.0%	42	100.0%	69	100.0%



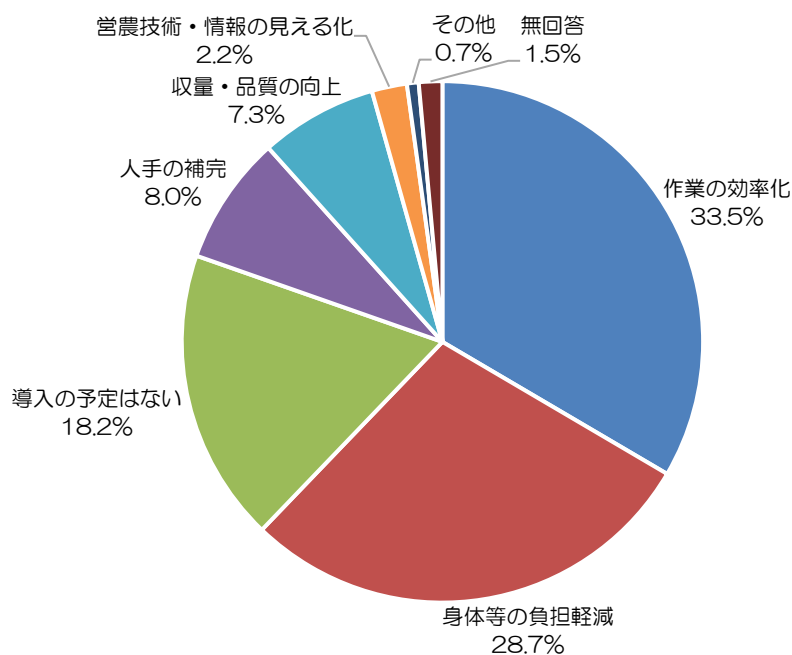
3-（14）先端的な技術（スマート技術）を用いた農業用機械等の導入によりめざしたいことについて教えてください

（1）集計概要

「作業の効率化」が最も多く 33.5%、続いて「身体等の負担軽減」が 28.7%、「導入の予定はない」が 18.2%となりました。

（2）集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり））

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
作業の効率化	92	33.5%	76	36.0%	8	33.3%	8	20.0%
身体等の負担軽減	79	28.7%	57	27.0%	5	20.8%	17	42.5%
導入の予定はない	50	18.2%	39	18.5%	3	12.5%	8	20.0%
人手の補完	22	8.0%	16	7.6%	3	12.5%	3	7.5%
収量・品質の向上	20	7.3%	16	7.6%	2	8.3%	2	5.0%
営農技術・情報の見える化	6	2.2%	4	1.9%	1	4.2%	1	2.5%
その他	2	0.7%	0	-	1	4.2%	1	2.5%
無回答	4	1.5%	3	1.4%	1	4.2%	0	-
合計	275	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%



4-(15) 農畜産物のブランド力を向上させるために、 地域で取り組んでいく必要があると考えることにつ いて教えてください

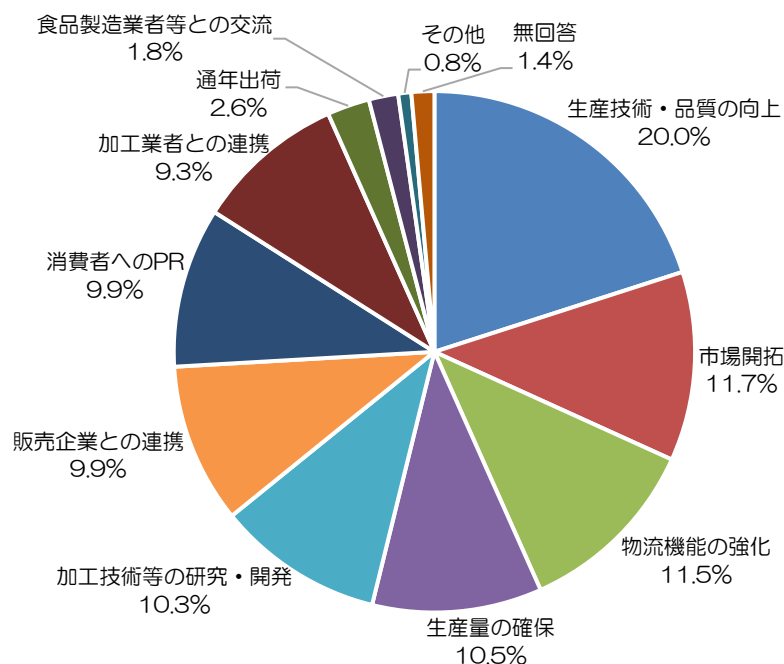
(1) 集計概要

「生産技術・品質の向上」が最も多く 20.0%、続いて「市場開拓」が 11.7%、「物流機能の強化」が 11.5%、「生産量の確保」が 10.5%となりました。

なお、「その他」の意見として「原材料や資材、労賃を上乗せした市場での適正な価格取引」などがありました。

(2) 集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり）） ※2つまで選択

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
生産技術・品質の向上	99	20.0%	81	21.2%	5	13.2%	13	17.6%
市場開拓	58	11.7%	43	11.3%	7	18.4%	8	10.8%
物流機能の強化	57	11.5%	40	10.5%	8	21.1%	9	12.2%
生産量の確保	52	10.5%	42	11.0%	2	5.3%	8	10.8%
加工技術等の研究・開発	51	10.3%	40	10.5%	1	2.6%	10	13.5%
販売企業との連携	49	9.9%	38	9.9%	5	13.2%	6	8.1%
消費者へのPR	49	9.9%	40	10.5%	5	13.2%	4	5.4%
加工業者との連携	46	9.3%	34	8.9%	2	5.3%	10	13.5%
通年出荷	13	2.6%	9	2.4%	2	5.3%	2	2.7%
食品製造業者等との交流	9	1.8%	7	1.8%	0	-	2	2.7%
その他	4	0.8%	2	0.5%	0	-	2	2.7%
無回答	7	1.4%	6	1.6%	1	2.6%	0	-
合計	494	100.0%	382	100.0%	38	100.0%	74	100.0%



4-（16）新たに導入を検討している農畜産物がありましたら、教えてください

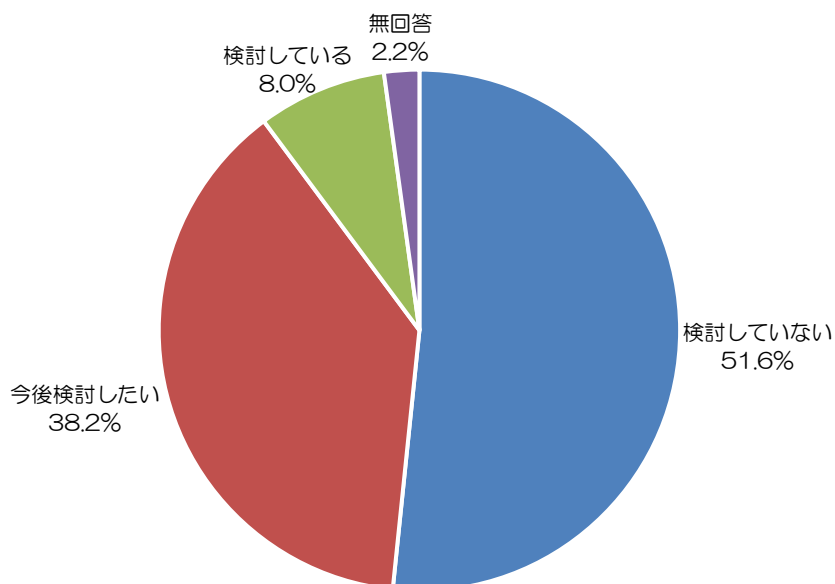
（1）集計概要

「検討していない」が最も多く51.6%、続いて「今後検討したい」が38.2%、「検討している」が8.0%となりました。

なお、「検討している」農畜産物は、「長いも」、「スイートコーン」、「さつまいも」、「人参」、「ピーズ」、「にんにく」、「トレビス」などがありました。

（2）集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり））

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
検討していない	142	51.6%	104	49.3%	12	50.0%	26	65.0%
今後検討したい	105	38.2%	86	40.8%	7	29.2%	12	30.0%
検討している	22	8.0%	16	7.6%	5	20.8%	1	2.5%
無回答	6	2.2%	5	2.4%	0	-	1	2.5%
合計	275	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%



5- (17) GAP・HACCP・有機JAS等の認証取得をしていない理由について教えてください

(1) 集計概要

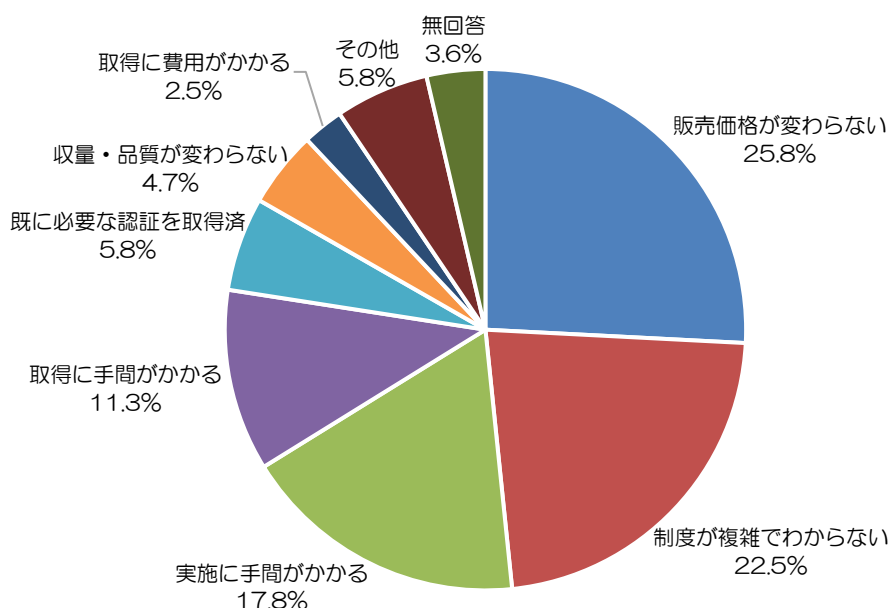
「販売価格が変わらない」が最も多く25.8%、続いて「制度が複雑でわからない」が22.5%、「実施に手間がかかる」が17.8%となりました。

また、「既に必要な認証を取得済」と回答した個人経営主は6.2%に対し、法人経営主は12.5%となりました。

なお、「その他」の意見として「販売先に求められていない」、「有機等をやっても売れない、収量が上がらない、現状の面積との作業体系に合わない」、「見合った販売価格になるのか」などがありました。

(2) 集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり））

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
販売価格が変わらない	71	25.8%	61	28.9%	5	20.8%	5	12.5%
制度が複雑でわからない	62	22.5%	42	19.9%	2	8.3%	18	45.0%
実施に手間がかかる	49	17.8%	38	18.0%	6	25.0%	5	12.5%
取得に手間がかかる	31	11.3%	24	11.4%	4	16.7%	3	7.5%
既に必要な認証を取得済	16	5.8%	13	6.2%	3	12.5%	0	-
収量・品質が変わらない	13	4.7%	9	4.3%	0	-	4	10.0%
取得に費用がかかる	7	2.5%	5	2.4%	0	-	2	5.0%
その他	16	5.8%	11	5.2%	3	12.5%	2	5.0%
無回答	10	3.6%	8	3.8%	1	4.2%	1	2.5%
合計	275	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%



5-（18）減肥・減農薬など環境負荷低減を進めろうえで課題と考えることについて教えてください

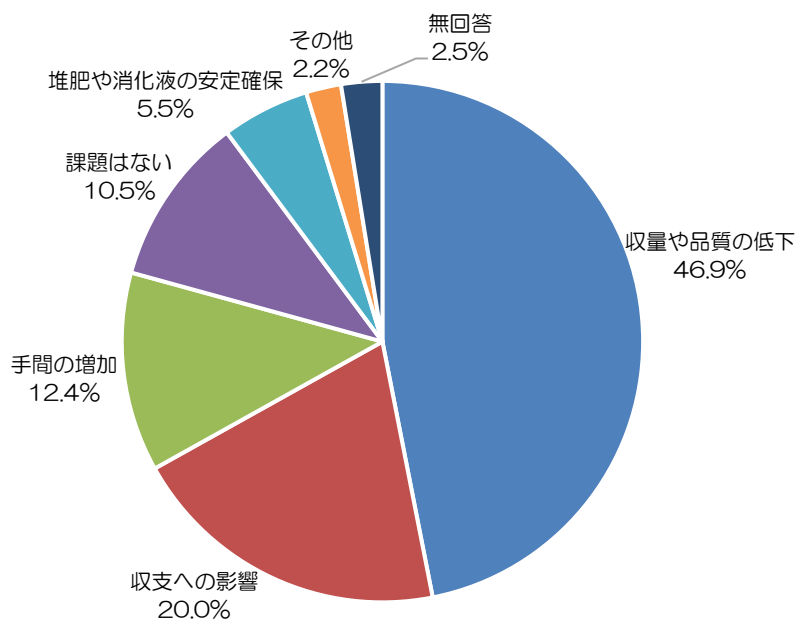
（1）集計概要

「収量や品質の低下」が最も多く 46.9%、続いて「収支への影響」が 20.0%、「手間の増加」が 12.4%となりました。

なお、「その他」の意見として「減収と病気の発生」、「手間が収入に合わない」などがありました。

（2）集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり））

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
収量や品質の低下	129	46.9%	103	48.8%	9	37.5%	17	42.5%
収支への影響	55	20.0%	43	20.4%	5	20.8%	7	17.5%
手間の増加	34	12.4%	19	9.0%	3	12.5%	12	30.0%
課題はない	29	10.5%	22	10.4%	5	20.8%	2	5.0%
堆肥や消化液の安定確保	15	5.5%	14	6.6%	0	-	1	2.5%
その他	6	2.2%	4	1.9%	1	4.2%	1	2.5%
無回答	7	2.5%	6	2.8%	1	4.2%	0	-
合計	275	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%



5-（19）地産地消の推進のため、地域で取り組んでいく必要があると考えることについて教えてください

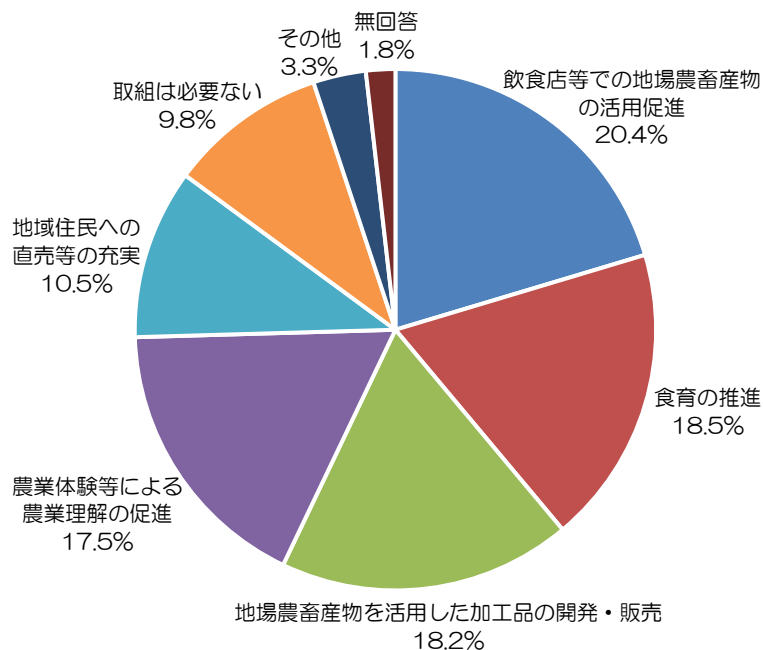
（1）集計概要

「飲食店等での地場農畜産物の活用促進」が最も多く20.4%、続いて「食育の推進」が18.5%、「地場農畜産物を活用した加工品の開発・販売」が18.2%となりました。

なお、「その他」の意見として「地域住民への直売等の拡充」、「生産者ではなく販売業者の意識」などがありました。

（2）集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり））

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
飲食店等での地場農畜産物の活用促進	56	20.4%	43	20.4%	6	25.0%	7	17.5%
食育の推進	51	18.5%	39	18.5%	6	25.0%	6	15.0%
地場農畜産物を活用した加工品の開発・販売	50	18.2%	42	19.9%	1	4.2%	7	17.5%
農業体験等による農業理解の促進	48	17.5%	38	18.0%	4	16.7%	6	15.0%
地域住民への直売等の充実	29	10.5%	19	9.0%	3	12.5%	7	17.5%
取組は必要ない	27	9.8%	19	9.0%	3	12.5%	5	12.5%
その他	9	3.3%	6	2.8%	1	4.2%	2	5.0%
無回答	5	1.8%	5	2.4%	0	-	0	-
合計	275	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%



6-(20) 耕地防風林の効果等について教えてください

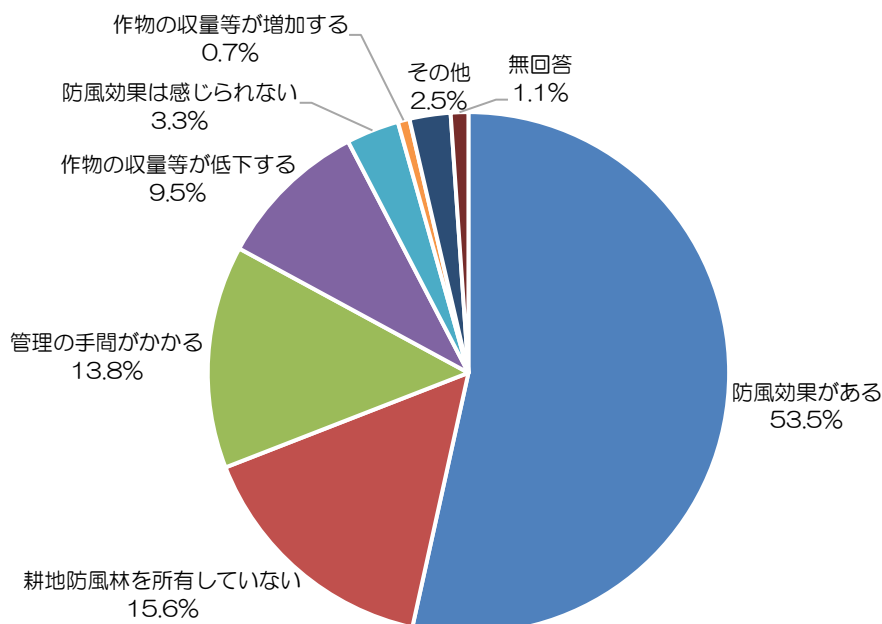
(1) 集計概要

「防風効果がある」が最も多く 53.5%、続いて「耕地防風林を所有していない」が 15.6%、「管理の手間がかかる」が 13.8%、「作物の収量等が低下する」が 9.5%となりました。

なお、「その他」の意見として「GPSの受信低下」などがありました。

(2) 集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり））

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
防風効果がある	147	53.5%	113	53.6%	15	62.5%	19	47.5%
耕地防風林を所有していない	43	15.6%	31	14.7%	3	12.5%	9	22.5%
管理の手間がかかる	38	13.8%	31	14.7%	2	8.3%	5	12.5%
作物の収量等が低下する	26	9.5%	17	8.1%	3	12.5%	6	15.0%
防風効果は感じられない	9	3.3%	8	3.8%	0	-	1	2.5%
作物の収量等が増加する	2	0.7%	2	0.9%	0	-	0	-
その他	7	2.5%	7	3.3%	0	-	0	-
無回答	3	1.1%	2	0.9%	1	4.2%	0	-
合計	275	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%



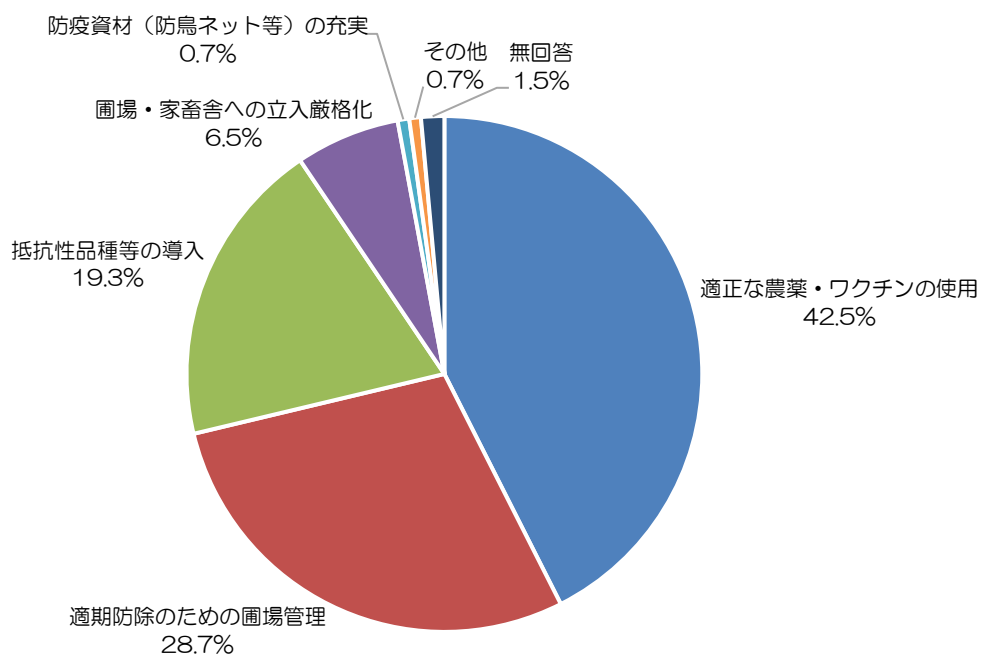
6- (21) 病虫害・伝染病等への対策として、重要と考える取組について教えてください

(1) 集計概要

「適正な農薬・ワクチンの使用」が最も多く42.5%、続いて「適期防除のための圃場管理」が28.7%、「抵抗性品種等の導入」が19.3%となりました。

(2) 集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり））

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
適正な農薬・ワクチンの使用	117	42.5%	93	44.1%	14	58.3%	10	25.0%
適期防除のための圃場管理	79	28.7%	64	30.3%	3	12.5%	12	30.0%
抵抗性品種等の導入	53	19.3%	37	17.5%	6	25.0%	10	25.0%
圃場・家畜舎への立入厳格化	18	6.5%	10	4.7%	1	4.2%	7	17.5%
防疫資材（防鳥ネット等）の充実	2	0.7%	2	0.9%	0	-	0	-
その他	2	0.7%	2	0.9%	0	-	0	-
無回答	4	1.5%	3	1.4%	0	-	1	2.5%
合計	275	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%



6-(22) 野生鳥獣による農業被害対策としてご自身で実施し、効果があると考えられることについて教えてください

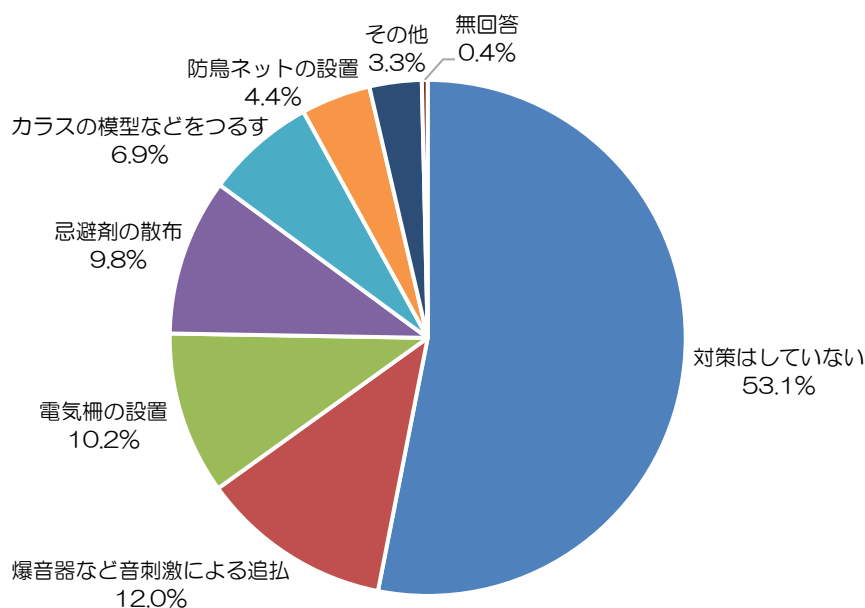
(1) 集計概要

「対策はしていない」が最も多く53.1%、続いて「爆音器など音刺激による追払」が12.0%、「電気柵の設置」が10.2%となりました。

また、「その他」の意見として「狩猟免許の取得」、「猟友会などへの駆除依頼」などがありました。

(2) 集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり））

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
対策はしていない	146	53.1%	114	54.0%	13	54.2%	19	47.5%
爆音器など音刺激による追払	33	12.0%	27	12.8%	1	4.2%	5	12.5%
電気柵の設置	28	10.2%	23	10.9%	3	12.5%	2	5.0%
忌避剤の散布	27	9.8%	20	9.5%	2	8.3%	5	12.5%
カラスの模型などをつるす	19	6.9%	12	5.7%	1	4.2%	6	15.0%
防鳥ネットの設置	12	4.4%	7	3.3%	3	12.5%	2	5.0%
その他	9	3.3%	7	3.3%	1	4.2%	1	2.5%
無回答	1	0.4%	1	0.5%	0	-	0	-
合計	275	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%



7-(23) TPP等による貿易自由化への対応として、 取り組みたいことについて教えてください

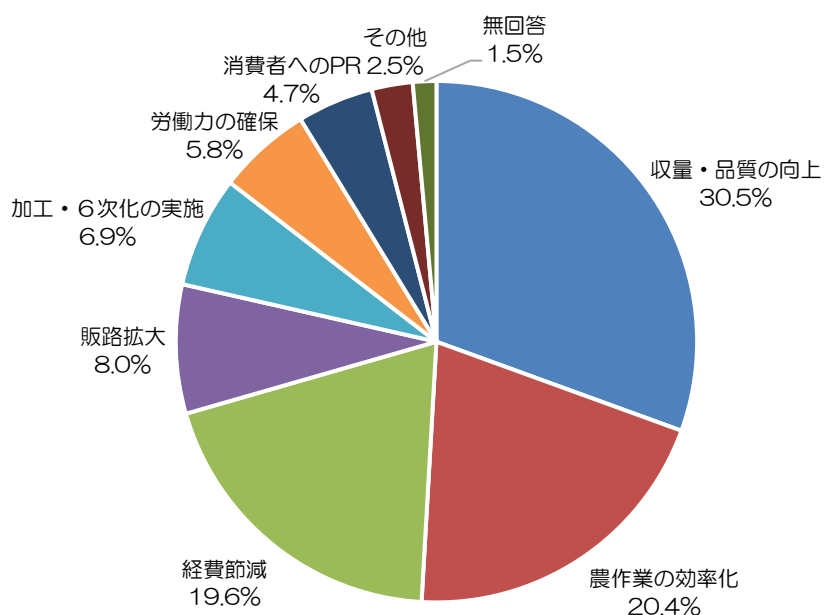
(1) 集計概要

「収量・品質の向上」が最も多く 30.5%、続いて「農作業の効率化」が 20.4%、「経費節減」が 19.6%となりました。

なお、「その他」の意見として「個人レベルでの対応は難しい」、「国が買い取るべき」などがありました。

(2) 集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり））

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
収量・品質の向上	84	30.5%	64	30.3%	8	33.3%	12	30.0%
農作業の効率化	56	20.4%	39	18.5%	6	25.0%	11	27.5%
経費節減	54	19.6%	48	22.7%	2	8.3%	4	10.0%
販路拡大	22	8.0%	18	8.5%	3	12.5%	1	2.5%
加工・6次化の実施	19	6.9%	12	5.7%	2	8.3%	5	12.5%
労働力の確保	16	5.8%	12	5.7%	1	4.2%	3	7.5%
消費者へのPR	13	4.7%	10	4.7%	1	4.2%	2	5.0%
その他	7	2.5%	5	2.4%	0	-	2	5.0%
無回答	4	1.5%	3	1.4%	1	4.2%	0	-
合計	275	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%



7-(24) 国は、国内への食料供給に加え、海外への輸出を図る考えであり、農協等も輸出に取り組んでいますが、輸出量を増やしていくために必要と考える取組について教えてください

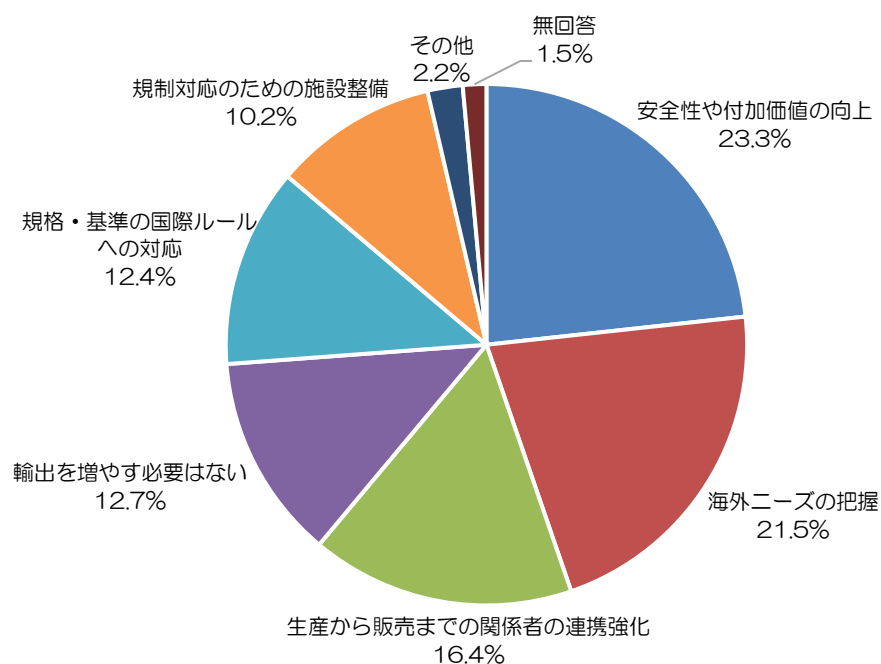
(1) 集計概要

「安全性や付加価値の向上」が最も多く 23.3%、続いて「海外ニーズの把握」が 21.5%、「生産から販売までの関係者の連携強化」が 16.4%となりました。

また、「その他」の意見として「まずは国内需要に十分な量を確保しその他を海外向けへとシフトすべき」、「自給率が低いのに輸出している場合ではない」、「畜産物の安定的な海外輸出」などがありました。

(2) 集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり））

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
安全性や付加価値の向上	64	23.3%	49	23.2%	4	16.7%	11	27.5%
海外ニーズの把握	59	21.5%	44	20.9%	6	25.0%	9	22.5%
生産から販売までの関係者の連携強化	45	16.4%	38	18.0%	4	16.7%	3	7.5%
輸出を増やす必要はない	35	12.7%	24	11.4%	1	4.2%	10	25.0%
規格・基準の国際ルールへの対応	34	12.4%	25	11.8%	5	20.8%	4	10.0%
規制対応のための施設整備	28	10.2%	23	10.9%	3	12.5%	2	5.0%
その他	6	2.2%	5	2.4%	0	-	1	2.5%
無回答	4	1.5%	3	1.4%	1	4.2%	0	-
合計	275	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%



7-(25) 外国人労働力を活用するうえで課題と考えることについて教えてください

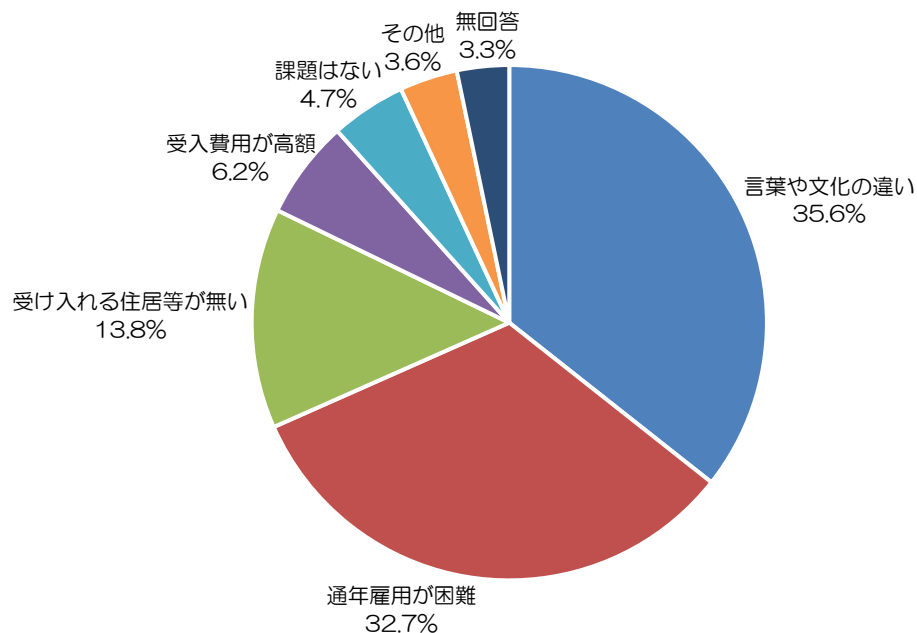
(1) 集計概要

「言葉や文化の違い」が最も多く 35.6%、続いて「通年雇用が困難」が 32.7%、「受け入れる住居等が無い」が 13.8%となりました。

また、「その他」の意見として「活用は考えていない」などがありました。

(2) 集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり））

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
言葉や文化の違い	98	35.6%	72	34.1%	10	41.7%	16	40.0%
通年雇用が困難	90	32.7%	78	37.0%	5	20.8%	7	17.5%
受け入れる住居等が無い	38	13.8%	27	12.8%	2	8.3%	9	22.5%
受入費用が高額	17	6.2%	10	4.7%	3	12.5%	4	10.0%
課題はない	13	4.7%	11	5.2%	1	4.2%	1	2.5%
その他	10	3.6%	6	2.8%	2	8.3%	2	5.0%
無回答	9	3.3%	7	3.3%	1	4.2%	1	2.5%
合計	275	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%



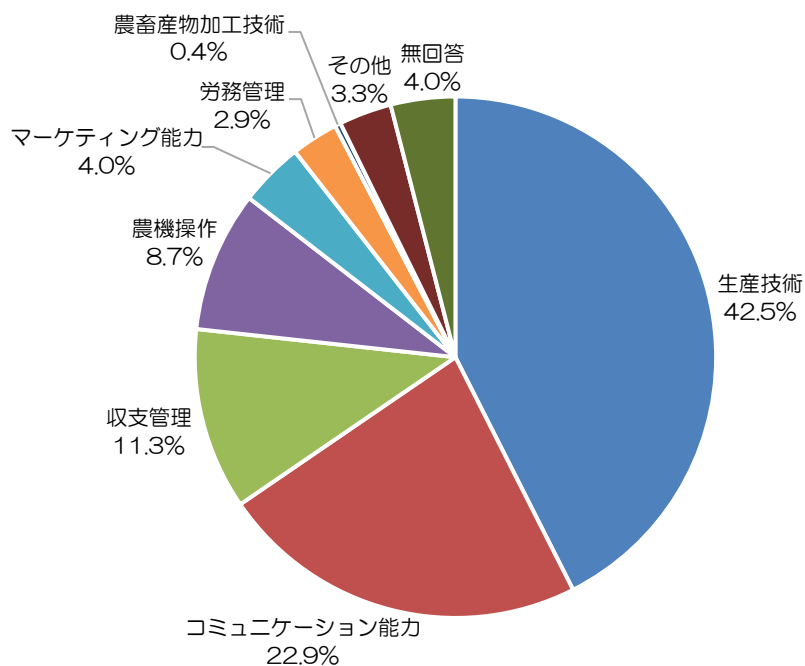
8- (26) 担い手育成に必要と思う技術・能力等について教えてください

(1) 集計概要

「生産技術」が最も多く 42.5%、続いて「コミュニケーション能力」が 22.9%、「収支管理」が 11.3%となりました。

(2) 集計結果（経営主及び配偶者（農業従事あり））

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
生産技術	117	42.5%	88	41.7%	11	45.8%	18	45.0%
コミュニケーション能力	63	22.9%	51	24.2%	4	16.7%	8	20.0%
収支管理	31	11.3%	26	12.3%	2	8.3%	3	7.5%
農機操作	24	8.7%	18	8.5%	2	8.3%	4	10.0%
マーケティング能力	11	4.0%	7	3.3%	2	8.3%	2	5.0%
労務管理	8	2.9%	7	3.3%	0	-	1	2.5%
農畜産物加工技術	1	0.4%	1	0.5%	0	-	0	-
その他	9	3.3%	6	2.8%	2	8.3%	1	2.5%
無回答	11	4.0%	7	3.3%	1	4.2%	3	7.5%
合計	275	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%



8-(27) 担い手の結婚対策として取り組んでほしいことについて教えてください

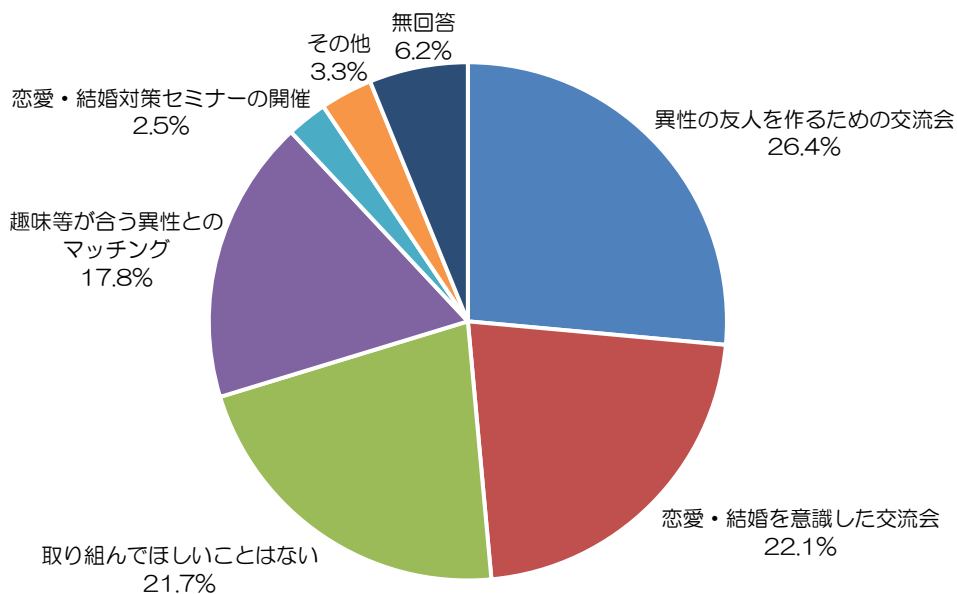
(1) 集計概要

「異性の友人を作るための交流会」が最も多く26.4%、続いて「恋愛・結婚を意識した交流会」が22.1%、「取り組んでほしいことはない」が21.7%となりました。

なお、「その他」の意見として「未婚家庭で農業体験」などがありました。

(2) 集計結果（全体）

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）		配偶者（農業従事なし）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
異性の友人を作るための交流会	73	26.4%	52	24.6%	5	20.8%	16	40.0%	0	-
恋愛・結婚を意識した交流会	61	22.1%	52	24.6%	4	16.7%	5	12.5%	0	-
取り組んでほしいことはない	60	21.7%	43	20.4%	7	29.2%	9	22.5%	1	100.0%
趣味等が合う異性とのマッチング	49	17.8%	41	19.4%	4	16.7%	4	10.0%	0	-
恋愛・結婚対策セミナーの開催	7	2.5%	5	2.4%	0	-	2	5.0%	0	-
その他	9	3.3%	4	1.9%	3	12.5%	2	5.0%	0	-
無回答	17	6.2%	14	6.6%	1	4.2%	2	5.0%	0	-
合計	276	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%	1	100.0%



9- (28) 快適な生活環境維持のために重要と考える生活インフラ等について教えてください

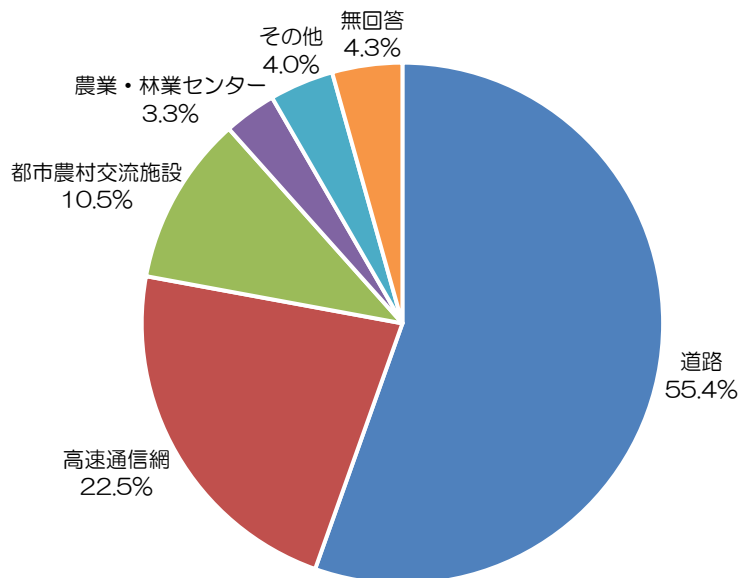
(1) 集計概要

「道路」が最も多く 55.4%、続いて「高速通信網」が 22.5%、「都市農村交流施設」が 10.5%となりました。

なお、「その他」の意見として「商業施設の充実」などがありました。

(2) 集計結果（全体）

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）		配偶者（農業従事なし）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
道路	153	55.4%	121	57.3%	11	45.8%	20	50.0%	1	100.0%
高速通信網	62	22.5%	46	21.8%	10	41.7%	6	15.0%	0	-
都市農村交流施設	29	10.5%	24	11.4%	2	8.3%	3	7.5%	0	-
農業・林業センター	9	3.3%	5	2.4%	0	-	4	10.0%	0	-
その他	11	4.0%	8	3.8%	0	-	3	7.5%	0	-
無回答	12	4.3%	7	3.3%	1	4.2%	4	10.0%	0	-
合計	276	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%	1	100.0%



9- (29) 農村地域の活性化に必要と考える取組について教えてください

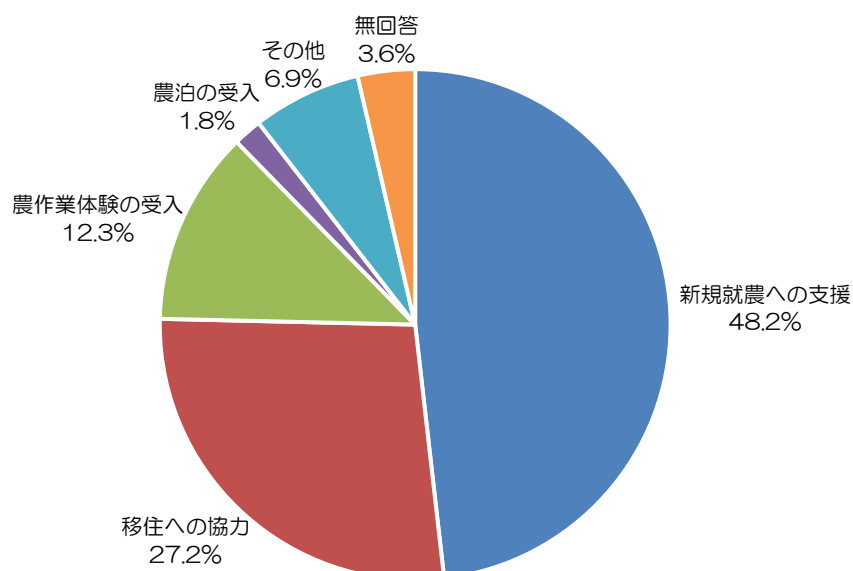
(1) 集計概要

「新規就農への支援」が最も多く 48.2%、続いて「移住への協力」が 27.2%、「農作業体験の受入」が 12.3%となりました。

なお、「その他」の意見として「スマート農業等により若手や未経験者への間口を広げ農業が魅力的な職業になること」、「農業予算の充実」、「商業施設の充実」、「特に活性化を望まない」などがありました。

(2) 集計結果（全体）

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）		配偶者（農業従事なし）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
新規就農への支援	133	48.2%	98	46.4%	12	50.0%	23	57.5%	0	-
移住への協力	75	27.2%	59	28.0%	8	33.3%	7	17.5%	1	100.0%
農作業体験の受入	34	12.3%	22	10.4%	3	12.5%	9	22.5%	0	-
農泊の受入	5	1.8%	5	2.4%	0	-	0	-	0	-
その他	19	6.9%	18	8.5%	1	4.2%	0	-	0	-
無回答	10	3.6%	9	4.3%	0	-	1	2.5%	0	-
合計	276	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%	1	100.0%



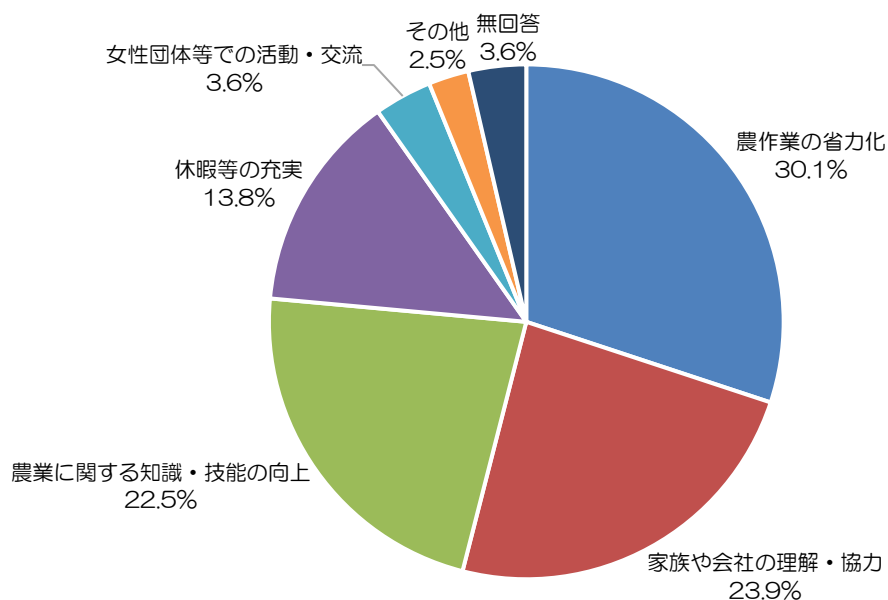
9- (30) 女性が農業分野で更に活躍するため必要な取組等について教えてください

(1) 集計概要

「農作業の省力化」が最も多く 30.1%、続いて「家族や会社の理解・協力」が 23.9%、「農業に関する知識・技能の向上」が 22.5%となりました。

(2) 集計結果（全体）

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）		配偶者（農業従事なし）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
農作業の省力化	83	30.1%	66	31.3%	5	20.8%	12	30.0%	0	-
家族や会社の理解・協力	66	23.9%	47	22.3%	12	50.0%	6	15.0%	1	100.0%
農業に関する知識・技能の向上	62	22.5%	49	23.2%	4	16.7%	9	22.5%	0	-
休暇等の充実	38	13.8%	30	14.2%	1	4.2%	7	17.5%	0	-
女性団体等での活動・交流	10	3.6%	8	3.8%	0	-	2	5.0%	0	-
その他	7	2.5%	5	2.4%	1	4.2%	1	2.5%	0	-
無回答	10	3.6%	6	2.8%	1	4.2%	3	7.5%	0	-
合計	276	100.0%	211	100.0%	24	100.0%	40	100.0%	1	100.0%



10- (31) 農業に関する施策のうち、重点的に取り組むべきと考えることについて、教えてください

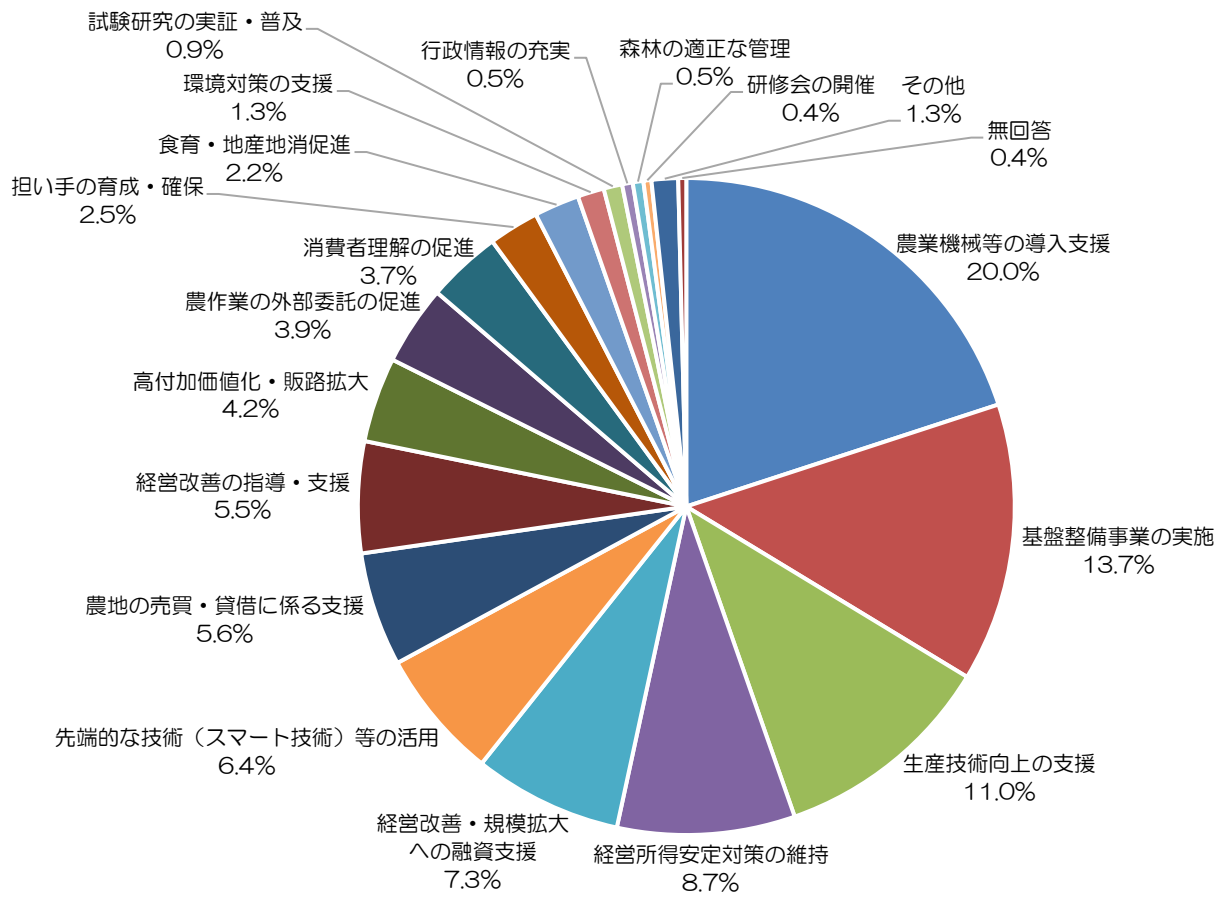
(1) 集計概要

「農業機械等の導入支援」が最も多く 20.0%、続いて「基盤整備事業の実施」が 13.7%、「生産技術向上の支援」が 11.0%、「経営所得安定対策の維持」が 8.7%となりました。

なお、「その他」の意見として「経費増加分を当り前に品代に価格転嫁する仕組み」、「灌漑用水設備の拡充」、「所得保障」、「輸送コストの軽減」などがありました。

(2) 集計結果（全体） ※3つまで選択

区分	合計		経営主本人（個人）		経営主本人（法人）		配偶者（農業従事あり）		配偶者（農業従事なし）	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
農業機械等の導入支援	153	20.0%	126	21.5%	10	15.2%	17	15.2%	0	-
基盤整備事業の実施	105	13.7%	82	14.0%	10	15.2%	13	11.6%	0	-
生産技術向上の支援	84	11.0%	61	10.4%	8	12.1%	14	12.5%	1	33.3%
経営所得安定対策の維持	67	8.7%	53	9.1%	5	7.6%	9	8.0%	0	-
経営改善・規模拡大への融資支援	56	7.3%	47	8.0%	4	6.1%	5	4.5%	0	-
先進的な技術（スマート技術）等の活用	49	6.4%	34	5.8%	6	9.1%	9	8.0%	0	-
農地の売買・貸借に係る支援	43	5.6%	36	6.2%	2	3.0%	5	4.5%	0	-
経営改善の指導・支援	42	5.5%	34	5.8%	2	3.0%	6	5.4%	0	-
高付加価値化・販路拡大	32	4.2%	24	4.1%	5	7.6%	3	2.7%	0	-
農作業の外部委託の促進	30	3.9%	23	3.9%	2	3.0%	5	4.5%	0	-
消費者理解の促進	28	3.7%	20	3.4%	4	6.1%	4	3.6%	0	-
担い手の育成・確保	19	2.5%	11	1.9%	2	3.0%	6	5.4%	0	-
食育・地産地消促進	17	2.2%	8	1.4%	2	3.0%	6	5.4%	1	33.3%
環境対策の支援	10	1.3%	7	1.2%	0	-	2	1.8%	1	33.3%
試験研究の実証・普及	7	0.9%	5	0.9%	1	1.5%	1	0.9%	0	-
行政情報の充実	4	0.5%	2	0.3%	0	-	2	1.8%	0	-
森林の適正な管理	4	0.5%	3	0.5%	0	-	1	0.9%	0	-
研修会の開催	3	0.4%	1	0.2%	1	1.5%	1	0.9%	0	-
その他	10	1.3%	6	1.0%	1	1.5%	3	2.7%	0	-
無回答	3	0.4%	2	0.3%	1	1.5%	0	-	0	-
合計	766	100.0%	585	100.0%	66	100.0%	112	100.0%	3	100.0%



自由意見

- 近年の生産資材の高騰により経営は大変厳しい状況が続いているため、高騰に対する支援をしてほしい。
- 農産物の価格決定に際しては、持続的な供給に要する合理的な費用が考慮されるようにしてほしい。
- 国はスマート農業を推進しているが、機械の導入にはお金が掛かり、導入しても付加価値が付いて高値で取引されるわけではないと思う。
- もっと使いやすく現状にあった補助金をつくって農家をバックアップしてほしい。
- 地産地消と海外向けを両立するような政策を進め、農家所得を安定させてほしい。
- 農家戸数の減少は地域の衰退につながるため、地域が維持向上できる対策が必要だと思う。
- 近年、毎年のように起こる干ばつの影響で農作物の生育不良が甚大な問題となっており、灌漑用水設備を普及させてほしい。
- 農地売買はできる限り均等に土地の面積を割り当ててほしい。
- 「生きること」は「食べること」。食料の大切さを忘れないでほしい。
- 今回の法改正では、食料自給率の向上は明記されず、食料を安定的に輸入していけるようにとも取れる改正だったと思う。
- 国の大きな支援がなければ今後の農村は衰退し、日本の食料生産に影響が生じることから、国はもっと日本の農業、食料を真剣に考えてほしい。